

令和4年度 学校自己評価システムシート(県立杉戸高等学校)

目指す学校像	一人ひとりの能力を確実に伸ばし、夢の実現を支援する学校
--------	-----------------------------

重点目標	1 進取の気概を持ち、社会に貢献できる人材を育成する 2 総合的な知の習得を行う 3 地域との交流を深めた教育活動を行う
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 7名
	事務局(教職員) 10名
	生徒 2名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標					年度評価(月 日現在)		実施日(令和5年 月 日)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	コロナ禍後を見据えて、学びの継続性を支えるためには全授業におけるICT活用の効果的な授業実践が不可欠であり、本校ではそのためのスキルを引き続き積み上げていく。本校の方向性をあらためて教職員全体で共有し、推進していくためにも将来構想委員会を早期に機能させ、組織的に対応していく。	①教員の教科力向上 ②第1志望に向けた進路指導の充実	①毎回の授業冒頭で教員が「本時の目標」を生徒に伝え、学びの目標を明確にする。 ①クラス全員がタブレットを用いた授業を年間30回以上実施する。 ②最新の進路情報を生徒・保護者に提供し、幅広く進学補講を開講する。 ②勉強マラソンや土曜開放の利用を推奨するとともに、学習サポーターを活用する。	①授業アンケートで、毎時の授業の目標の明確化がなされていたとの回答を得ることができたか。 ①学校生活アンケートで、ICTの活用による授業の理解度は向上したとの回答は得られたか。 ②国公立型の共通テストの出願数の増加と合格者10名以上は達成できたか。難関私立大学の実質合格者数は25名を超えたか。 ②勉強マラソンの参加人数は増加したか。土曜開放や学習サポーターの活用状況は向上したか。				
2	生徒の学びは多様であり、できるだけ個に寄り添った対応が望まれる。そのためには、一律な教授法のみではなく、特性を有する生徒への働きかけを教員側が熟知していなければならない。また、学びは教授されるべきものとの認識が生徒側に強く、それが学びの本質を歪めることを踏まえ、主体的な学習方法の確立を組織的に構築していく必要がある。	①生きる力を支える学びの充実 ②心の教育の充実	①年度当初に1学年対象の「スタートアップ・プログラム」を実施する。 ①国際交流を推進し、異なる価値観が触れ合う場を提供する。 ①R5入学生の一人一台端末導入に向けた環境整備を進める。 ②在り方生き方教育を見直し、本校生徒に見合った教材をもとに心の教育を推進する。 ②校内の研修会等を通じ、特性のある生徒への具体的関わりや支援を充実させる。	①「スタートアップ・プログラム」実施後の、生徒アンケートによる満足度や効果は高かったか。 ①アジアからの留学生や中国との交流は推進されたか。 ①関係業者と情報を共有し、校内整備を進めることができたか。 ②生徒が抱える問題に組織的かつ速やかに対応できたか。いじめ重大事態は0であったか。 ②教員向けの校内研修や情報提供はなされたか。また、個別の支援計画を作成し、対象生徒や保護者への支援を行ったか。				
3	コロナ禍により、地域との交流が制限される中、感染予防対策を講じつつ実施可能なものについては積極的に取り組む。あわせて、教職員の働き方改革の観点からも内容を精査していく必要がある。本校の大きな課題として生徒募集があり、駅から近い地理的な利点を活かしつつ、本校の取り組みと魅力をいかに効果的に情報発信できるかが課題である。外部媒体機関や地域への効果的な情報発信を推進していく。	①地域交流の推進 ②積極的な広報活動	①「総合的な探究の時間」を通じ、地域が抱える諸課題について認識させ、地域に活かすための方策について考えさせる。 ①部活動やその他の交流等、コロナ禍により実施できなかったもので、可能と思われるものについて慎重に実施を進める。 ②部活動、校内諸行事等の最新情報を素早く学校HPに掲載する。 ②外部媒体機関、本校発行の各種通信、PTA等を効果的に活用し、本校の教育活動を外部に向けて積極的に発信し、生徒募集に繋げる。	①地域が抱える課題に即したものとなっているか。SDGsの視点は踏まえられているか。 ①コロナ禍での感染防止対策を踏まえ、部活動やその他の校内関係各所と地域との交流はなされたか。 ②学校HPへの記事の掲載は速やかになされたか。また、記事の掲載数は昨年と比べて上昇したか。 ②外部媒体機関への情報提供はなされたか。また、各種通信の発行数の上昇、PTA等との効果的な情報共有はなされたか。				